

富士宮第一中学校



矢立

時を守り、場を浄め、礼を正す

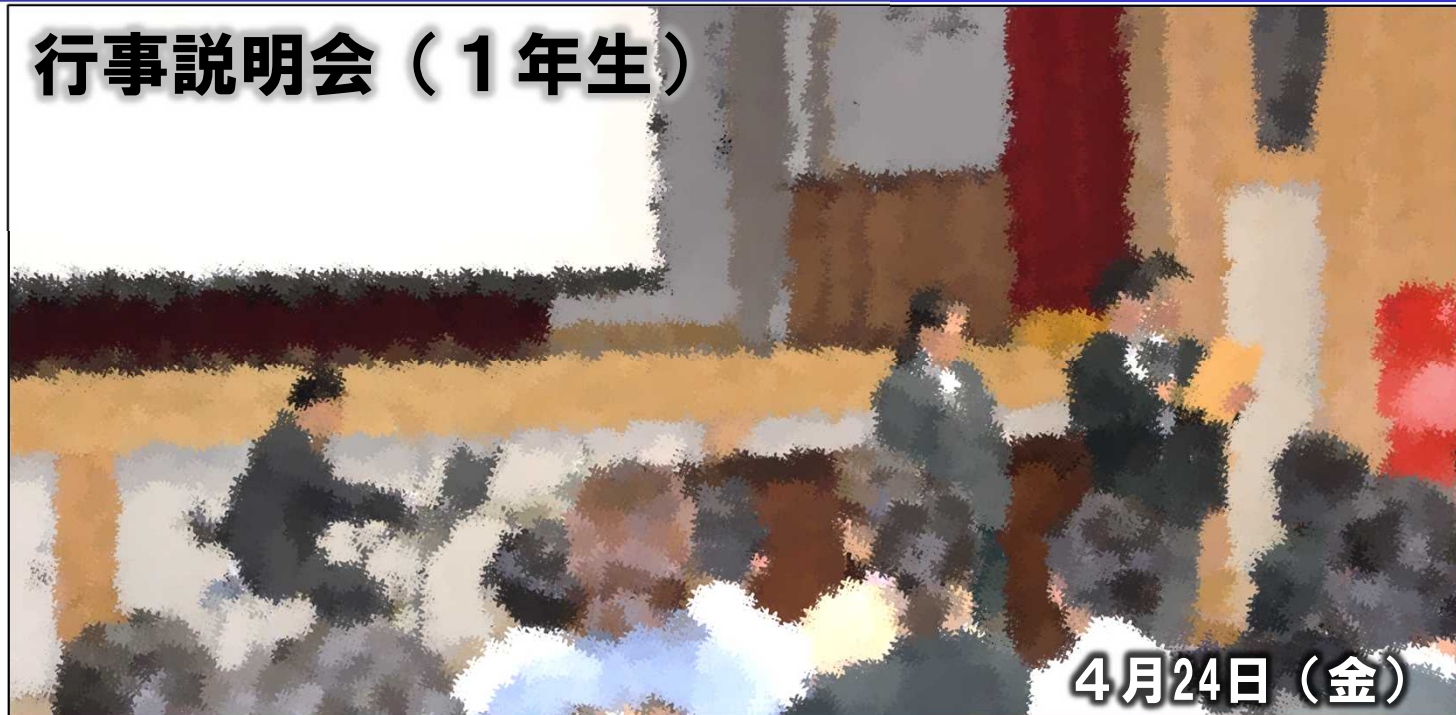
校訓 可能性に挑む

学校教育目標

「自信をもって活動する生徒」

令和8年度 第2号

行事説明会（1年生）



4月24日（金）

5月全校集会

校長 佐々木 誠

新年度がスタートして、1ヶ月がたちました。みなさんも新しい環境に慣れてきたことと思います。

そこで「慣れ」という言葉の意味を今一度考えてほしいと思います。慣れるといろいろなことがスムーズに進みます。緊張感がとれて自分らしさを発揮することができます。

反面、慣れるとだらしなさにつながるおそれもあります。

みなさん一人一人が、「慣れ」を味方にするか、敵にまわすかによって、集団としての力は大きく変わってしまいます。ぜひとも、「慣れ」を自分の味方にして、チーム富士宮一中の力を上げてほしいと思います。

チーム力を上げるといえば、今月末には、修学旅行、自然体験教室、矢立セミナーがあります。これらの行事は、学校生活の大切なものとして位置づけられています。それは、行事によって、班や学級、学年の団結力が高まり、チーム力を上げることができるからです。

この行事の大きな特徴は、「集団で行動」することと、「自分たちで準備」することです。この2つが、学校生活の中に修学旅行、自然体験教室、矢立セミナーが必要な理由だと私は思います。「集団で行動」ということに注目すると、時間やきまりを守る意識が必要です。そのためには、時には個人の我慢も必要となってきます。

「自分たちで準備」することに注目すると、自分たちで準備、計画したことを実行していくわけですから、集団の一員として、班や学級への協力が必要です。

この2つをみんなで達成できた時、「行事の成功」となり、その力は富士宮一中としてのチーム力を上げることに繋がります。そして何より、「みんなで楽しい思い出をつくる」ことにもつながっていくと思います。

「みんなで楽しい思い出をつくり」、「みんなで幸せになる」。そんな行事にするために、みんなで頑張っていきましょう。

最後に、あるアニメの言葉を紹介します。

「誰にでもできることとできないことがある。お前にできないことは俺がやる。俺にできないことをお前がやれ。（原文修正）」というセリフです。

誰にでも得意不得意があります。行事も含め、学校生活において、自分のよいところに注目して、自分らしく活躍できることを探してほしいと思います。そして、その活躍をみんなで認めてあげる、そんな学校を創りましょう。



行事説明会

4月24日に全学年の行事説明会を実施しました。5月26日～28日に行われる3日間の宿泊行事等の説明を行いました。生徒たちは、行事に向けての準備に一生懸命取り組んでいます。

修学旅行説明会



PTA理事会

4月24日に1年生の行事説明会後、PTA理事会を実施しました。当日は、多くの保護者の方にご参加いただき理事会を開催することができました。理事会の後には、紙面PTA総会を実施し、過半数の承認を得ることができました。今年度のPTA活動もご協力お願いします。



リユース部の活動

PTA感謝状贈呈式

4月24日のPTA理事会の前に、令和7年度でPTA役員の退任される方々に感謝状を贈呈しました。一中生のために学校の教育活動を支え、PTA活動に尽力くださり本当にありがとうございました。



【一中では多くの方々に
生徒と関わっていただきます】

◎スクールカウンセラー

八木 義人（やぎ よしひと）さん

【来校日】 5月21日（木）

6月 4日（木）18日（木）25日（木）

◎不登校対策支援員

佐野 英明（さの ひであき）さん

◎スクールソーシャルワーカー

鈴木 美和子（すずき みわこ）さん

※御遠慮なく学校にお問い合わせください。

家庭教育学級

5月13日にPTA家庭教育学級の開講式が行われ、併せて「味噌造り教室」も実施しました。15名ほどの保護者の方と、校長先生、後藤先生が参加し味噌造りをしました。みなさん楽しみながら取り組んでいる姿が印象的でした。



富士宮第一中学校ホームページ

<https://fujinomiya-shizuoka-01miya1.edumap.jp>

